



「ほんとうにたいせつなもの」  
 ちょうこくかのエリにつくられた木ほしの小人  
 ウイミックたちは、ウイミック村にすんでいました。  
 そのころ、村では、はことボールをあつめるのがはやっ  
 っていました。はじめは、みんなあつめて楽しんでいただけ  
 でしたが、いつのまにか、いいものをあつめること、たくさんあつめること  
 きょうろうになつていきました。

パンチネはも、ほかの多くのウイミックたちと同じように、  
 はことボールあつめに **むちゅう** になつて、  
 友だちのことばをきかなくなつて  
 しまつたのでした、……

(E.マ) ルケード/作  
 マルティネス/絵

「ハリイの山」  
 シャピロ/作、広瀬弦/絵  
 ハリイは、いつも夢をみていました。(E.七)  
 うつくしいみどりいろの山のゆめでした。  
 ところが、ハリイのいるところは、どこをみてもかわいた土ばかり。  
 まわりにはのは、フレードッグのみれだけなのでした。  
 あかねがあれば、山だって、みずうみだって手にはいるのに、と  
 考えていたハリイには、フレードッグのなきごえが「キン、  
 キン、金」ときこえました。ハリイは土をほり  
 はじめました。エッサ、エッサ、やすみなく、  
 ただただ土をほりつづけます。  
**むちゅう**で、ひしに、……

(E.ア) 「時計つくりの  
 ジョニー」  
 エドワード・ア・ディゾーニ/作  
 ジョニーは、とつても器用な男の子。  
 ものをつくるのがじょうずでした。  
 ジョニーは、お気に入りの本、『大時計  
 のつくりかた』を見て、思いつきました。  
 「ぼくも、大時計をつくらう。」  
 でも、あかあさんもあとうさんも、学校の先生も  
 だれもが「つくれっこない」といいます。  
 それでもジョニーは決心し、**むちゅう**  
 になつて、時計をつくりはじめました。  
 たった二人、友だちのスザンナとかじの  
 ジョーさんだけは、おうえんしてくれました。  
 じいさくたつて、ひとつのことに  
**むちゅう**になれりて、すてき  
 ですよね!  
 かえはれ、  
 ジョニー!

# 思わず夢中になりました

(E.ビ) 「あひるのピンのぼうけん」  
 マージョリー・フラック/文  
 クルト・ヴィーゼ/絵  
 むかしあるところに、ピンというこどもあひるが  
 すんでいました。ピンは、あとうさんとあかあさんと  
 3羽のにいさん、2羽のねえさん、7羽のあじさんと11羽の  
 あばさん、それから42羽のいとこたちといっしょに、  
 揚子江の氷の上にかかぶ「かしこい目」というふねに  
 すんでいました。まいあさ、ピンたちは、ふねから小さい橋を  
 わたつて岸辺にありたち、一日じゅうえさをさがしてすごすので  
 す。ある日のこと、ピンが氷にあたまをつっこんで  
**むちゅう**で魚をとつていまうちに、ふねにもどるのか  
 さいごになつてしまいました。  
 さいごの一日は、ふねのあじさんに、あしりをふたれるのです。  
 それがいやで、ピンは草むらにたかくれました。……  
 長く読みつがれてきた、名作のひとつです。

「グリーン・グリーン・ソング」  
 田中ゆかり/作・絵 (E.タ)  
 グリーン・グリーンはかせは、きょうもじまんの  
 おんしつで、一日じゅう草や木のけんきゅうを  
 しています。はかせは、みどりがいちばん好きなのさ。  
 はかせがいまいちばん **むちゅう** になつていることは、  
 「うたう花」をつくることです。  
 いろいろな国の、めずらしいたねやえさを  
 あつめて、いろいろなくすりをつけ、**むちゅう**で  
 けんきゅうしましたが、「うたう花」はなかなか  
 できません。  
 そんなある日、はかせは、ふしぎな  
 ゆめを見ました。……

ほったあひるのうしろに山が  
 できているのもしら  
 ないで。

10月27日から  
 11月9日まで  
 読書週間です。

